

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	利用者一人ひとりの希望に沿って入浴ができるよう声掛けをし、柔軟に対応できるように支援してほしい。	利用者の希望に沿った入浴を提供できる。	①浴室の場所を利用者が明確に分かるよう暖簾をかける。 ②入浴の時間帯にその日の予定者以外にも声を掛け希望を聞く。	1ヶ月
2	5	引き戸の施錠が常態化されているので、常態化しない工夫をして、職員の勤務状況によって解放する時間を作ることを検討して欲しい。	施錠している状況が当たり前ではないことを理解することができる。	カンファレンスで職員に、運営推進会議で利用者家族や地域の方達に問いかけ話し合いを行う。	達成済
			利用者が窮屈さを感じずに生活できる。	①日曜日や人員が多い日の午後にその日の状況を見ながら1時間程度開錠する時間を作る。 ②出入口と分かりにくくし気持ちを逸らすために引き戸の手前に暖簾を掛ける。	2ヶ月
3	13	災害時における利用者の行動や独自の避難経路を確認し、職員と利用者が自主訓練を実施し、記録に残してほしい。	緊急時の利用者の行動の把握や一緒に避難経路を確認することができる。	①三ヶ月に一度実際に利用者も避難訓練に参加して頂く。 ②自主避難訓練実施表に利用者参加の有無を記入する欄を設ける。	3ヶ月
4	6	職員間で家族の意見に沿った統一したケアができているかどうか、互いに振り返り、記録等工夫してはいかかが。	職員全員がケアプランに沿ったケアを提供することができる。	①個別の記録にプラン内容を加えたものに一新する。	4ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。